

## ②御食国ひょうごを支える農林水産業（その1）

手間暇をかけて露地で栽培した農産物が美味しさと安全安心でブランド化し、兵庫の農林水産物が各国に輸出されるとともに、ICT（情報通信技術）を活用した植物工場での自動生産が普及するなど、産業としての力強い農林水産業が展開されている。また、豊富な生産力で地産地消が進み、兵庫の豊かな食材が県民の健康的な食生活を支えている。

### 2040年の生活シーン

#### <プロフィール>

- 30代の女性。淡路の多自然地域に夫と住み、農業を営んでいる。
- 出身は都市部だが、子どもの頃から土いじりが大好きで、大学は農学部に進んだ。同じ学部と同級生と卒業後に結婚し、園芸会社に入社したが、やはり農業がやりたくて、20代半ばの頃に、夫婦で淡路に移住し、就農した。

#### <就農>

- 兵庫県では、県内各地で新規就農を支援する体制ができていて、地縁がない者に対しても、農地や住居が斡旋される。私たちが就農する場所として淡路を選んだのは、淡路島たまねぎや淡路島ブルーベリーのおかげで、農産物のブランドとしての「淡路」の名前が確立されていたことがある。
- 最初は、この地域の農業法人に夫婦で勤務し、30代になったところで独立した。農地バンクから農地を借り、農機具、種苗購入などの資金は、夫婦で貯めた預貯金と、農業支援を重視している金融機関からの融資で賄った。

#### <スマート農業>

- 農業法人では、ロボットやICT等の技術を使った超省力化、生産管理や品質管理の手法を学ぶことができた。自動走行や夜間走行ができるトラクターを使って、限られた作期の作業効率を上げたり、センサーや過去のデータを分析して水や肥料の与え方、種まき・収穫の時期を判断したりすることで、高品質の農産物を多く生産することができる。
- アシストスーツを使った農産物の運搬や除草作業のロボット化で、農作業のきつさはずいぶん軽減されているし、消費者とつながったクラウドシステムの需要予測に基づいて生産・出荷を行うことで、安定的な収入が確保できることから、新規就農する人がどんどん増えている。

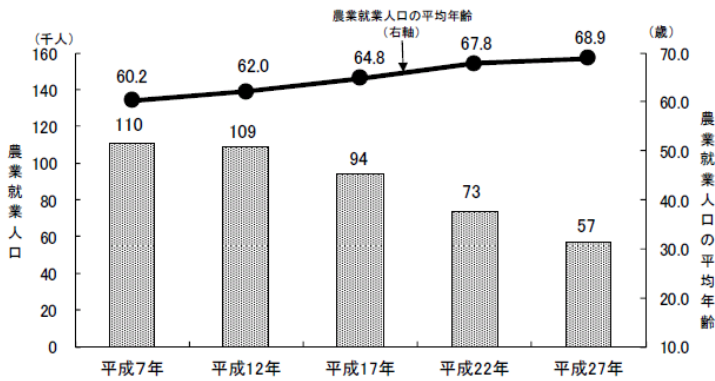
#### <農業の成長性>

- 当初は、露地栽培でつくる、生産者の顔の見える農産物を消費者に届ける農業から始めた。独立後間もない頃は、販売先の確保に苦労したけれど、今では都市部の高級スーパーに年間を通じて納入している。
- 1年ほど前に、海外のデパートでの兵庫県産農産物フェアに出展したところ、好感触を得たことから、今季の収穫物から海外輸出を始める。神戸ビーフや淡路島たまねぎのように、海外でブランド化されている農産物に続けたい。
- 経営基盤をさらに安定化させるために、銀行から融資を受けて、人手を介さず天候にも左右されない植物工場での自動生産を開始する計画も立てている。労働力不足や食料自給率の向上を考えると、植物工場で作る農産物を市場に供給することも大事だと思う。

## 現状や課題

### 【農業就業人口・平均年齢の推移（県）】

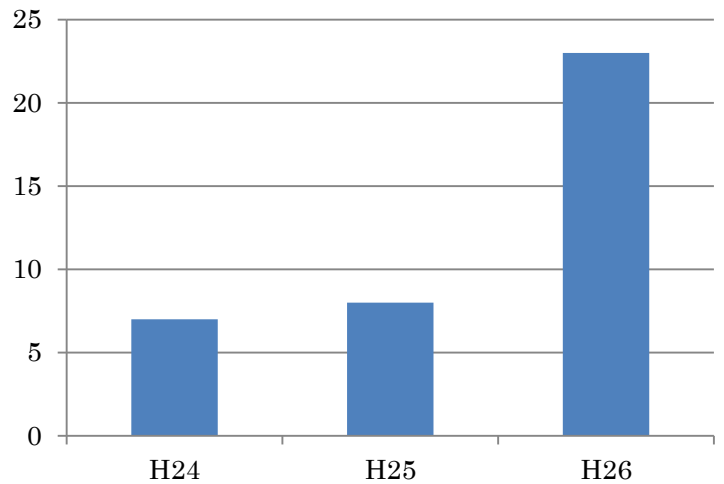
図13 農業就業人口の推移



(出典：兵庫県「2015年農林業センサス 農林業経営体調査結果の概要(概数値)」)

### 【農林水産物輸出品目数推移（県）

(品目)



(出典：兵庫県ビジョン課作成)

## 見えてきた兆し

### 【スマート農業】

**1 超省力・大規模生産を実現**  
GPS自動走行システム等の導入による農業機械の夜間走行・複数走行・自動走行等で、作業能力の限界を打破

**2 作物の能力を最大限に発揮**  
センシング技術や過去のデータに基づききめやかな栽培により、**精密農業**。作物のポテンシャルを最大限に引き出し多収・高品質を実現

**スマート農業**  
ロボット技術、ICTを活用して、超省力・高品質生産を実現する新たな農業

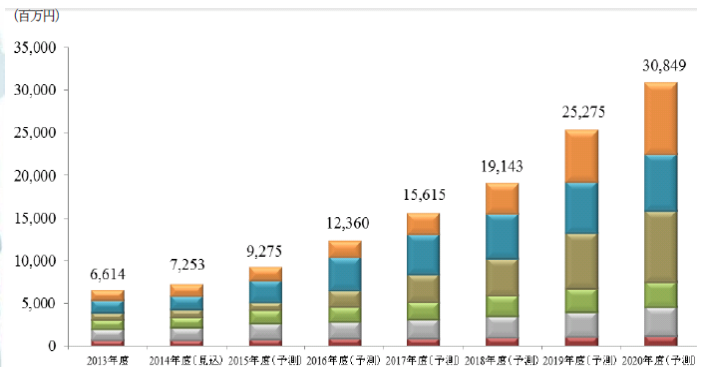
**3 きつい作業、危険な作業から解放**  
収穫物の積み下ろしなどの重労働をアシストスーツで軽労化するほか、除草ロボットなどにより作業を自動化

**4 誰もが取り組みやすい農業を実現**  
農業機械のアシスト装置により経験の浅いオペレーターでも高精度の作業が可能となるほか、ノウハウをデータ化することで若年層が農業に続々とトライ

**5 消費者・実需者に安心と信頼を提供**  
クラウドシステムにより、生産の詳しい情報を実需者や消費者にダイレクトにつなげ、安心と信頼を届ける

(出典：農林水産業「スマート農業の実現に向けた研究会」)

### 【スマートアグリ市場規模推移（国）】



(出典：(株)矢野経済研究所「スマート農業に関する調査結果 2015」)

### 【次世代園芸モデル団地（加西市）】



(出典：兵庫県総合農政課作成)

### 【専門家等の意見】

- 農業は、技術の変革によってこれから如何様にも変わっていく産業である。
- 売れ筋の農産物がいくつか出てきている。それに対する機敏な対応、健康志向や外国人の野菜需要の拡大といった動きに対して、マーケットイン的な発想で対応していく必要性がある (H27. 8. 28 農林水産政策審議会 第8回企画部会 議事録)。